

令和3年度学校自己評価システムシート (県立浦和第一女子高等学校)

目指す学校像	世界で活躍できる知性と教養、逞しさを備え、社会に貢献する高い志を持った魅力あるリーダーを育成する女子高校
--------	--

重点目標	1 グローバルな視点で学びを支援し、自ら進路を切り拓く一女生を育成する。 2 部活動や学校行事などを通して、何事にも主体的に取り組む一女生を育成する。 3 外部連携を一層推進するとともに、一女の教育活動を積極的に発信する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価								学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標					年 度 評 価 (月 日 現 在)			実 施 日	令 和 年 月 日
番 号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	学 校 関 係 者 か ら の 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等	
1	<p>計画的な進路指導、学習指導等により、県内トップレベルの学力の生徒たちの意欲を喚起して、成果を上げている。</p> <p>また、昨年度の臨時休業時の経験を踏まえ、Google Classroomの有効活用等さらにICTを効果的に活用した授業や行事への取組を探っていくことが求められている。</p> <p>SGH事業自体は終了したが、本校が築いてきた探究学習の精神・ノウハウを継承してることが課題となっている。</p>	<p>①授業改善への取組に対する共通理解</p> <p>②全職員による組織的な進路指導</p> <p>③SDGsを軸とした探究学習に関する取組</p>	<p>①アンケート等により、生徒の主体的な学びを支援する体制を検証する。</p> <p>①情報、ノウハウの共有化を図り、ICTを活用した授業実践を推進する。</p> <p>②複数回の生徒面談を通じ、的確な生徒理解と進路指導を行う。</p> <p>②進路研修会を実施し、学年、教科、分掌の緊密な連携により、効果的な進路指導を行う。</p> <p>③総合的な探究の時間を中心に、SSH、旧SGHの取組を継続して進める。</p>	<p>①主体的な学びに関するアンケート項目の肯定的回答8割程度</p> <p>①ICTの活用に関する研修会の実施状況</p> <p>②複数回の生徒面談の実施状況</p> <p>②進路研修会の実施状況</p> <p>③探究学習等に関するアンケート項目の肯定的回答8割程度</p>					
2	<p>部活動や学校行事などに積極的に取り組む生徒が大多数であるが、悩みを抱える生徒も増えてきており、組織的な支援に取り組んでいる。</p> <p>昨年度は、部活動や学校行事などが、中止や変則的な実施とならざるを得なかったため、その継続性を図っていくことが、課題である。</p> <p>生徒のメンタルヘルスについては、家庭との連携を大切に、教育相談をさらに強化していくことが求められている。</p>	<p>①部活動や学校行事における対応と支援</p> <p>②教育相談体制の充実</p>	<p>①部活動や各学校行事において生徒たちが主体的に活動できる環境づくりを行う。</p> <p>①状況により、代替案を用意するなど、臨機応変に対応し、行事等の流れを切らさないようにする。</p> <p>②教育相談に関する知識・情報等を得るための研修会を実施する。</p> <p>②スクールカウンセラーとの連携を一層進める。</p>	<p>①部活動、各行事に関するアンケート項目の肯定的回答8割程度</p> <p>①活動が制限された場合の代替行事等の実施状況</p> <p>②研修会の実施状況</p> <p>②スクールカウンセラーの活用状況</p> <p>②支援を必要とする生徒の情報共有状況</p>					
3	<p>昨年度、コロナ禍対応に迫られる状況下においても、HP、一斉メール、Google Classroom等を活用し、教育効果を上げたことは、大いに評価されている。さらにその培ったノウハウを、生かしていくことが肝要である。</p> <p>また、学校説明会など、できうる限りの工夫と努力で実施したことは、評価され結果も出している。その維持・向上が課題である。</p> <p>昨年度、条件の限られる中で、浦和駅とのコラボレーションなど新しい取組を行ったことも、大いに評価されている。今年度も臨機応変な対応が求められる。</p>	<p>①本校教育活動に関する情報発信の充実</p> <p>②外部機関との連携</p>	<p>①全教職員でHPの更新など情報発信を積極的に行っていく。</p> <p>①昨年度培ったGoogle Classroomの活用のノウハウを共有化し、さらに進めていく。</p> <p>①どのような条件下であっても、柔軟な対応により、学校説明会を実施する。</p> <p>②一昨年度まで行ってきた地域や外部機関との連携を復活し、これからも継続していけるようにする。</p> <p>②PTA及び同窓会との連携を充実させる。</p>	<p>①HPのアクセス回数29万回以上</p> <p>①Google Classroomを用いた情報発信の状況</p> <p>①授業公開及び学校説明会の実施状況</p> <p>②外部機関と連携した行事の実施状況</p> <p>②保護者アンケートにおける学校満足度8割以上</p>					